

## 介 護 過 程

**問題 106** 介護福祉職が、初回の面談で情報を収集するときの留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 用意した項目を次から次に質問する。
- 2 目的を意識しながら話を聴く。
- 3 ほかの利用者が同席する状況で質問する。
- 4 最初に経済状態に関する質問をする。
- 5 家族の要望を中心に話を聴く。

**問題 107** 介護過程の評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生活状況が変化しても、介護計画で設定した日に評価する。
- 2 サービス担当者会議で評価する。
- 3 相談支援専門員が中心になって評価する。
- 4 利用者の満足度を踏まえて評価する。
- 5 介護計画の実施中に評価基準を設定する。

**問題 108** 次の記述のうち、介護老人保健施設で多職種連携によるチームアプローチ（team approach）を実践するとき、介護福祉職が担う役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の生活状況の変化に関する情報を提供する。
- 2 総合的な支援の方向性を決める。
- 3 サービス担当者会議を開催する。
- 4 必要な検査を指示する。
- 5 ほかの職種が担う貢献度を評価する。

次の事例を読んで、問題 109、問題 110 について答えなさい。

〔事 例〕

A さん(75 歳, 女性)は, 一人暮らしで, 身体機能に問題はない。70 歳まで地域の子どもたちに大正琴を教えていた。認知症(dementia)の進行が疑われて, 心配した友人が地域包括支援センターに相談した結果, A さんは介護老人福祉施設に入所することになった。入所時の A さんの要介護度は 3 であった。

入所後, 短期目標を, 「施設に慣れ, 安心して生活する(3 か月)」と設定し, 計画は順調に進んでいた。A さんは施設の大正琴クラブに自ら進んで参加し, 演奏したり, ほかの利用者に大正琴を笑顔で教えたりしていた。ある日, クラブの終了後に, A さんは部屋に戻らずに, エレベーターの前で立ち止まっていた。介護職員が声をかけると, A さんが, 「あの子どもたちが待っているの」と強い口調で言った。

**問題 109** 大正琴クラブが終わった後のAさんの行動を解釈するために必要な情報として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 介護職員の声かけのタイミング
- 2 Aさんが演奏した時間
- 3 「あの子たちが待っているの」という発言
- 4 クラブに参加した利用者の人数
- 5 居室とエレベーターの位置関係

**問題 110** Aさんの状況から支援を見直すことになった。

次の記述のうち、新たな支援の方向性として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護職員との関係を改善する。
- 2 身体機能を改善する。
- 3 演奏できる自信を取り戻す。
- 4 エレベーターの前に座れる環境を整える。
- 5 大正琴を教える役割をもつ。

次の事例を読んで、問題 111、問題 112 について答えなさい。

〔事 例〕

B さん(50 歳, 男性, 障害支援区分 3)は, 49 歳のときに脳梗塞(cerebral infarction)を発症し, 左片麻痺<sup>ひだりかたまひ</sup>で高次脳機能障害(higher brain dysfunction)と診断された。以前は大工で, 手先が器用だったと言っている。

現在は就労継続支援 B 型事業所に通っている。短期目標を, 「右手を使い, 作業を自分ひとりで行える(3 か月)」と設定し, 製品を箱に入れる単純作業を任されていた。ほかの利用者との人間関係も良好で, 左片麻痺<sup>ひだりかたまひ</sup>に合わせた作業台で, 毎日の作業目標を達成していた。生活支援員には, 「将来は手先を使う仕事に就きたい」と希望を話していた。

将来に向けて, 生活支援員が新たに製品の組立て作業を提案すると, B さんも喜んで受け入れた。初日に, 「ひとりで頑張る」と始めたが, 途中で何度も手が止まり, 完成品に不備が見られた。生活支援員が声をかけると, 「こんなの, できない」と大声を出した。

**問題 111** 生活支援員の声かけに対し、Bさんが大声を出した理由を解釈する視点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ほかの利用者との人間関係
- 2 生活支援員に話した将来の希望
- 3 製品を箱に入れる毎日の作業量
- 4 製品の組立て作業の状況
- 5 左片麻痺ひだりかたまひに合わせた作業台

**問題 112** Bさんに対するカンファレンス(conference)が開催され、短期目標を達成するための具体的な支援について見直すことになった。

次の記述のうち、見直した支援内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 完成品の不備を出すことへの反省を促す。
- 2 左側に部品を置いて作業するように促す。
- 3 完成までの手順を理解しやすいように示す。
- 4 生活支援員が横に座り続けて作業内容を指示する。
- 5 製品を箱に入れる単純作業も同時に行うように調整する。

**問題 113** 事例研究を行うときに、遵守すべき倫理的配慮として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 研究内容を説明して、事例対象者の同意を得る。
- 2 個人が特定できるように、氏名を記載する。
- 3 得られたデータは、研究終了後すぐに破棄する。
- 4 論文の一部であれば、引用元を明示せずに利用できる。
- 5 研究成果を得るために、事実を拡大解釈する。